十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社 2006
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299

JAXAの大気球観測実験

道、大樹移転を要請

【札幌】道の太田博企画振興部長は、6日の道議会本会議で独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA、本部東京）が検討している、科学観測用の大気球観測実験の大樹町への移転について、道としてJAXAへ移転要請していることを明らかにした。道の要請で移転の動きに弾みが付くとみられる。

喜多龍一氏（自民党道民会議、十勝支庁）の質問に答えた。

大気球観測実験は、岩手県大船渡市にあるJAXAの三陸大気球観測所が実施している。大気球を高度30―50キロの成層圏に打ち上げ、宇宙線観測や地球温暖化の原因物質を採取。JAXAは、観測機器や気球の大型化に伴い広い実験場を探している。

道は、大船渡市長選を控え静観していたが、11月26日の投票で現職市長が当選し、動ける状態になり、翌27日に嵐田昇副知事がJAXA本部を訪れ、間宮馨副理事長と会い、大樹町への移転を要請した。

道幹部は「副理事長から移転について明確な返答はなかったが、JAXAは移転の意向を大船渡市側へ伝えたようだ」としている。

太田部長は、JAXAが計画し、大樹町が誘致している移動式のロケット発射場についても「誘致希望地域と連携し、積極的に誘致したい。実現すれば、本道の宇宙開発研究の大きな弾みとなり、関連産業の育成につながる」と述べた。

また、大樹町でJAXAなどが2004年度まで実施し、現在、中断している「成層圏プラットフォーム」の飛行試験について「実用化には将来構想の検討が必要で、次の実験は現時点では未定」と述べた。

高橋はるみ知事は「ロケット技術開発などの国家プロジェクト誘致は、本道経済の持続的な発展を目指す上で極めて重要」と誘致に積極的な姿勢を示した。

（平野明）